

脳と神経 第 29 巻 総目次

1977 年 (第 1 号～第 12 号)

【図 譜】

姿勢・位置異常アトラス

1. 弛緩性麻痺 大友 英一 6(1)
2. 橈骨神経麻痺 平山 恵造・近藤 智善 8(1)
3. 屈曲性対麻痺 岩本 奈津・塚越 廣 130(2)
4. 除脳固縮 (強直) 島田 康夫 132(2)
5. 伸展性対麻痺 有馬 正高 246(3)
6. 尺骨神経麻痺 平山 恵造・近藤 智善 366(4)
7. Wernicke Mann 肢位 大友 英一 478(5)
8. パーキンソン病の姿勢異常 作田 学 594(6)
9. 局所姿勢反射 平山 恵造・千田 富義・横地 正之 701(7)
10. 顔面神経麻痺 谷島 定一・塚越 廣 826(8)
11. 外転神経麻痺 有馬 正高・落合 靖男 918(9)
12. 共同偏視 大友 英一 1026(10)
13. 視床手 葛原 茂樹 1138(11)

【総 説】

- 夢の生理学 大熊 輝雄 13(1)
- 中枢神経系の伝達物質 (I) 135(2)
- 序 言 高垣玄吉郎 135(2)
- 伝達物質候補としてのグルタミン酸 山本長三郎 136(2)
- 中枢神経系における GABA (γ -アミノ酪酸) の局在と機能 岡田 安弘 140(2)
- 脊髄における神経伝達物質の候補 —sub-stance P と glycine について— 小西 史朗 148(2)
- 伝達物質候補による cyclic nucleotides の調節 清水 宏俊 155(2)
- 脊髄の神経科学的方法アプローチ (II) 序 言 島村 宗夫 249(3)
- 中枢神経機構の研究の現状について 伊藤 正男 250(3)

脊髄運動ニューロンへ単シナプス結合をする
2つの求心路の比較—形態学からの考察

平田 幸男 251(3)

Proprioceptive Neurons を介する前肢運動
系の調節機構 田中 励作 259(3)

ヒトの脊髄機能の病態生理学的研究

柳沢 信夫 266(3)

脊髄傷害にともなう膝蓋腱反射亢進の発現
機序 —サルにおける胸髄半切実験を中
心として— 青木 藩 272(3)

神経病理の面から—錐体路障害を中心とし
て—

松山 春郎 279(3)

クモ膜下出血時における脳血管攣縮—その臨
床面について— 斎藤 勇 369(4)

機能的脳外科の理念 大江 千廣 481(5)

失語症 —言語症状と臨床的側面—

笹沼 澄子 489(5)

α -プロパロトキシンとアセチルコリン受容体
高守 正治・石井 伸子・辻畑 光宏
森 正孝・葛西 道生 597(6)

脳の奇形の発生機序 島田 司巳 715(7)

くも膜下出血時における脳血管攣縮

—その機序について—

石井 昌三・野中 利房 829(8)

随意運動の発達 前川 喜平 921(9)

姿勢反射の発達 北原 侑 1029(10)

Kearns-shy 症候群

木下 真男・鈴木 雅人 1141(11)

神経伝達物質について—臨床神経学との関連
で— 金澤 一郎 1245(12)

【原 著】

Ethyl nitrosourea の経胎盤投与による実験的
脳腫瘍 (第 2 報) —ENU 経胎盤投与によ
る実験的脳腫瘍の血管構築について—

埴本 勝司・玉木 紀彦・松本 悟 27(1)

ウイルス動脈輪の閉塞と脳底部に異常血管
網の成長を認めた 1 例 —いわゆる“モ

- 「ヤモヤ」病の発生機序に関連して—
大野喜久郎・藤本 司・小松 清秀
稲葉 稔・井田 隆 37(1)
- 正常小児の各種睡眠段階における脳波活動
の自己回帰パワースペクトルと、その構
成要素の解析 小川 昭之・山口 憲嗣 45(1)
- サル脳・感覚運動領の傷害前後における知
覚誘発電位と運動機能の観察
戸谷 重雄・飯坂 陽一・石田 吉亨
上田 守三・上村 孝臣・秋山 武仁
泉 二郎 57(1)
- 橋被蓋部に存在する排尿反射中枢に関する
実験形態学的研究 佐藤 啓二 63(1)
- 原発性脳橋出血手術例における The 'one
and a half syndrome' の4例について
古場 群巳・横山 徹夫・金子 満雄 75(1)
- てんかん全身痙攣発作の初診時脳波所見と
予後
福島 裕・斎藤 文男・大久保 健 81(1)
- 時を異にして発生した両側性高血圧性脳出
血の2例—両側性脳出血の臨床像、頻度、
予後および手術適応について—
大西 英之・菊池 晴彦・古瀬 清次
唐沢 淳・榊 寿右・吉田 泰次
滝 和郎・本藤 秀樹・山形 専 87(1)
- 小脳核—結合腕と淡蒼球—ルイ体の変性を示
した同胞例 —小脳核系と淡蒼球系の原
発性系統変性—
田中 良憲・室伏 君士・安藤 蒸
諏訪 克行・林 正高 95(1)
- 放射線壊死の病理学的研究—脳腫瘍剖検例に
みられた壊死像の組織学的特異性の検討—
中村仁志夫 105(1)
- 急性一酸化炭素中毒不全開放型の1例の脳
波推移
丹羽 真一・加藤 進昌・清水 広三
別府 宏因 103(2)
- Benzodiazepine 系抗てんかん剤 clonazepam
の抗てんかん作用について (II) —Clona-
zepam 静注脳波からみた抗てんかん作用—
森 俊憲・加藤 秀明・池田 澄江
森崎 郁夫 171(2)
- 脳血管螢光連続撮影による脳微細循環の研究
(1)—撮影方法と局所脳循環時間の測定—
河瀬 斌 181(2)
- 術後多尿に対する治療上の問題点について
久間 祥多・増田 肇・山口 和郎
桑原 武夫 191(2)
- 球症状を主体とした重症筋無力症における
電気生理学的解析
松本 昭久・田代 邦雄 197(2)
- Parkinsonism における MK-486 単独投与
の効果—臨床症状と血液、尿、髄液中カテ
コールアミンの検討—
東儀 英夫・小川 眞 205(2)
- 各種小児疾患の尾状核神経細胞にみられた
アルコール硝子体類似の小体
小川 宏・生田 房弘・小宅 洋 215(2)
- 大動脈縮窄に合併する脳動脈瘤
横田 晃・児玉 万典・松角 康彦 221(2)
- Diastatomyelia の2症例
服部 孝道・井上 駿一・大塚 嘉則 227(2)
- 脳血管螢光連続撮影による脳微細循環の研
究 (II) —微細循環の病態とその分類—
河瀬 斌 289(3)
- 小脳失調から除脳状態へ移行し、Kuru 斑
を認めた1剖検例
黒田 重利・森定 諦・立石 潤
福井 秀明・細川 清 301(3)
- Fisher 症候群—とくにその3主徴の発現機
序に関する神経生理学的考察—
呉屋 朝和・吉田 護・松角 康彦
加納 竜彦 307(3)
- 頭蓋内圧の間接的測定法 —とくにその原
理と動物実験成績について—
大野喜久郎・藤本 司・稲葉 稔
戸川 達男・中井 正継 315(3)
- Sylvian aqueduct syndrome が一過性に
出現した、中脳水道閉塞症の1例
中尾 哲・佐藤 慎一・伴 貞彦
犬塚 梢夫・山本 豊城・尾形 誠宏 319(3)
- ACTA scanner による脳脊髄疾患の診断
佐藤 修・山下 緑 325(3)
- Menkes kinky hair disease の2例
四宮 範明・安田 孝夫・有村 章
青木 継稔・原岡 潔・丹羽 直久
松島 善治 331(3)
- Vincamine ならびにその analogues の脳
循環におよぼす実験的検討
今本 哲治・額田 忠篤・多田 邦彦 341(3)

- Cloverleaf skull syndrome について一症例
報告と文献的考察—
佐治 董豊・操 厚・広瀬 敏勝
船越 孝・山田 弘・国枝 篤郎
坂田 一記 389(4)
- 小脳橋角部腫瘍の神経耳科学的検討—特に
Bruns 眼振の機序の模式化について—
千葉 康洋・藤津 和彦・山下 俊紀
藤野 英世・桑原 武夫・泉 聰司
山口 宏也・吉本 裕 399(4)
- 脳腫瘍に対する showdomycin と小線量放
射線の併用療法の臨床経験
鎌野 秀嗣・天野 数義・花村 哲
Heinz Fankhauser・畠中 坦 407(4)
- 尿崩症, 痙性対麻痺, 小人症, 精神薄弱,
網膜色素変化を呈した 1 例
青木 信之・岡崎 瑠璃・北原 信
中島 敏夫・有馬 正高・杉谷 晃俊 415(4)
- Moya-Moya の予後に関する研究 (I) —一臨
床予後について— 吉井与志彦 421(4)
- レイテ島 (フィリッピン) における脳日本
住血吸虫症の臨床的研究—甲府地方の同疾
患との比較—
林 正高・熊倉 徹雄
Noseñas, J. S.・Blas, B. L. 425(4)
- Ethylnitrosourea の経胎盤投与による実験
的脳腫瘍 (第 3 報) —Autoradiography
による腫瘍増殖動態について—
埴本 勝司 433(4)
- 浮腫脳における蛋白代謝 川上 千之 443(4)
- 異所性松果体腫瘍の 1 例—経過・剖検所見—
樺島 啓吉・原田 正純・丸林 徹 453(4)
- Moya-moya の予後に関する研究 (II)—CT
Scanning の診断能について—
吉井与志彦 505(5)
- Sheehan 症候群を伴った無酸素脳症の 1 例
赤井淳一郎・加藤 雄司・篠原 猛 511(5)
- 濾過法による髄液の細胞診についての検討
と真菌性髄膜炎の診断への応用
佐藤 修三・福原 信義 517(5)
- Horseradish peroxidase を用いた逆行性軸
索内追跡法によるネコ胃の迷走神経支配
の研究 —副交感性節前線維の起始細胞
の局在について—
里見 肇・山本 悌司 525(5)
- 結節性硬化症の細胞遺伝学的研究
鈴木 康之 537(5)
- 静脈内に投与した ATP のヒト脳血流量に
対する作用
富永 詩郎・田川 皓一・渡辺 勝宏
伊藤 敬一・上村 和夫・菅野 厳
S. Strandgaard・中村 隆 534(5)
- Moyamoya 病の脳波
青木 恭規・児玉南海雄・平賀 旗夫
和田 徳男 551(5)
- Progressive supranuclear palsy の 2 症例
—特にその臨床症状と気脳断層写所見に
ついて—
田代 邦雄・浜田 毅・岩崎 喜信
都留美都雄・阿部 悟・蔵 建夫
加瀬 学 561(5)
- 脊 髄 鏡
大井 淑雄・佐藤 悠吉・御巫 清允
森崎 直木 569(5)
- Radioisotope による Moyamoya 診断に関
する研究 能勢 忠男 611(6)
- 脳動脈瘤を伴った Persistent Primitive
Hypoglossal Artery の 1 例
森本 益雄・青木 秀暢・江口 茂雄 621(6)
- グリセロールが奏効した重症上矢状静脈洞
血栓症の 1 例
小林 祥泰・五嶋 武・沢田 徹
田崎 義昭 627(6)
- 精神運動発作としての笑い発作と大脳半球
優位について 河合 逸雄・新宮 一成 633(6)
- 脊髄損傷急性期の呼吸と循環—受傷部位との
関係について—
武田 勝文・神納光一郎・南 卓男
桂田 菊嗣 639(6)
- 脊髄前根知覚性線維の起始細胞と終止部位
について —逆行性軸索流を利用した実
験的研究—
山本 悌司・高橋 杏三・里見 肇
伊勢ひろみ 649(6)
- トルコ鞍並びにその近傍腫瘍の CT スキャ
ン像—とくに脳縦断断層撮影法による検
討— 貞本 和彦 659(6)
- 軽微なる外傷にて発症した頭蓋骨脊椎移行
部多発合併奇形の興味ある 1 例
竹内東太郎・山田 実紘・佐藤 公典

- 森安 信雄 669(6) 榎木 良友・山田 弘・坂本 武嗣
両側側頭葉損傷による聴覚言語障害の1例 坂田 一記 851(8)
- 物井 寿子・笹沼 澄子 675(6) 上頸神経節電気刺激の局所脳血流におよぼす影響
顔面の血管腫と Primitive trigeminal artery
の遺残を伴い、橋内出血を繰り返した1
症例 内田 桂太・小川 彰・桜井 芳明
堀 重昭・鈴木 二郎 857(8)
- 宮原 郷士・大田 秀穂・高木 東介
米増 祐吉・横田 清 685(6) 第3脳室内に局限した Craniopharyngioma
の1症例 難波 真平・坪井 雅弘 865(8)
- ドーパミン受容体刺激 (ET 495, CB 154)
の基礎的および臨床的検討 L-Dopa の Superenteric coating 錠 —そ
の吸収、排泄および臨床効果の検討—
東儀 英夫・小川 眞 837(8)
- ADH 分泌異常症例の診断と治療—定量的診
断法の確立とその臨床的意義について— 意識混濁の評価法に関する臨床的研究
(第1報)
橋 滋国・宮坂 佳男・斎藤 武志
高木 宏・大和田 隆・矢田 賢三 741(7) 杉浦 和朗・金沢 致吉・佐藤 進
近藤駿四郎・村岡 潔・西邑 信男 879(8)
- カンジダ髄膜炎—殆んど無症状で遷延経過を
示した1例— Dipropylacetic acid sodium (Depakene) の
血中レベルと臨床
貝嶋 光信・伊規須英輝・後藤 幾生
黒岩義五郎・松本 忠彦 751(7) 細川 清・久郷 敏明・大月 三郎 885(8)
- ミオクロームスてんかん (変性型) の1剖
検例 —ミオクロームスの発現機序につ
いての考察— ニトロソウレア系薬剤の抗脳腫瘍効果に関
する実験的研究 —水溶性 ACNU 剤と
脂溶性剤 Me-CCNU の比較—
鶴 紀子・西田 保馬・児玉 祐一
八木 和一・寺師 慎一・王 皓恵 755(7) 長谷川 洋・早川 徹・堀 正治
中川 秀光・最上平太郎・中田 陽造 891(8)
- 高血圧性脳内出血の発生と拡大機序に関
する実験的考察 田中 義勝 763(7) 内頸動脈閉塞症における眼動脈を介した
collateral circulation —超音波 Doppler
血流検査による半定量的試み—
金田 平夫・南 卓男・種子田 護
入野 忠芳 941(9)
- Amantadine のラット脳における螢光組織
化学的研究 師岡 正年・柳沢 光彦 773(7) CT における画像処理とその臨床応用
中野 善久・向井 孝夫・小室 裕冉
鳥塚 莞爾・相井平八郎・半田 譲二
福山 秀直 951(9)
- 脳循環における自己調節作用と神経性因子
に関する実験的研究 佐久間 博 779(7) Sturge-Weber 病の Computerized To-
mography 所見
銭場 明男・牧野 博安・牧 豊
能勢 忠男 963(9)
- 躁うつ状態を示した頭部外傷後遺症の1
剖検例 弟子丸元紀・宮川 太平・鈴木 高秋 787(7) 頭蓋内横紋筋肉腫の1症例
武美 寛治・池田 正一・木村 和郎
米沢 猛 971(9)
- 聴性脳幹反応 (Auditory Brain Stem Re-
sponse-BSR) の脳幹障害例への診断学的
応用 加我 君孝・花村 哲・山田 修
鈴木 淳一 791(7) 脳動脈瘤の顕微鏡下手術の遠隔成績
佐野 圭司・斎藤 勇 977(9)
- 口腔内アフタを初発症状とし、21年後に突
然神経症状を呈した neuro-Behçet 症候
群の1剖検例 草野 五男・中久木和也・矢谷 隆一
伊藤 知夫・中野 起 843(8) 末梢静脈血漿 cyclic AMP による脳梗塞
障害度の早期評価
富永 詩郎・小嶋 俊一・村上松太郎
上村 和夫・鈴木 敏巳・中村 隆 987(9)
- Tolosa-Hunt syndrome —症例報告と
clinical criteria に関する検討—

大脳皮質発作波の伝播と視床 VA 核 岩山 馨・森 和夫・小野 博久 山城 勝美・米倉 正大	995(9)	安井 信之・近藤 智善・大江 千廣 植林博太郎	1199(11)
原発性脳腫瘍患者の血清免疫グロブリン値 中尾 哲・寺野 允将・山下 純宏 半田 肇	1005(9)	ラット外側視床下部の脳内自己刺激行動に 対する Thyrotropin-Releasing Hormone の抑制効果 小島 秀樹・稲永 和豊・野田 安孝 川口 英子・梶原由美子・田中 正敏 長崎 信行	1207(11)
橋出血の臨床病理学的研究—I. 臨床的検討 中島 健二・伊藤善太郎・辺 龍秀 鈴木 明文	1047(10)	脳腫瘍患者の血中 polyamine—血中 spermi- dine 及び spermine 濃度と、腫瘍の種類、 とくに神経膠腫の組織学的な悪性度の関係 について— 寺林 征	1215(11)
鼻性髄液漏を呈した cloverleaf skull syndrome の 1 例—神経放射線学的検討— 諸岡 啓一・宮前 達也・丸木 希代	1059(10)	Ethylnitrosourea (ENU) の経胎盤投与に よる実験的脳腫瘍 (第 4 報) 埜本 勝司・玉木 紀彦・藤原 潔 松本 悟	1221(11)
脳底部異常血管網 (“モヤモヤ”) の Computed Tomography 半田 譲二・松田 功・半田 肇 中野 善久・小室 裕冉・奥野 武彦 相井平八郎	1067(10)	植物状態 3 症例の他覚的検索—聴性・視性誘 発反応を中心に— 加我 君孝・滝口 峻・鈴木 淳一	1261(12)
Thyrotropin Releasing Hormone 酒石酸塩 (TRH-T) の意識障害における効果 間中 信也・洲之上徳郎・近藤 達也 堀 智勝・佐野 圭司	1075(10)	Sodium Di-N-propylacetate (DPA) のて んかん予防効果と抗けいれん効果につい て —Kindling preparation を用いた実 験的研究— 佐藤 光源・中島 豊爾・長尾 卓夫 大下 俊則・和気 章・友田 孝子 大月 三郎	1267(12)
書字障害の軽度な感覚失語—側副血行の著明 な 1 例— 倉知 正佳・竹越 忠美	1085(10)	Epileptic Nystagmus の 1 例 榎戸 秀昭・佐野 譲・越野 好文 山口 成良	1277(12)
成人脳トキソプラズマ症の 2 剖検例—光顕的 および電顕的検索— 佐久間由吉・高木 俊孝・福田 芳郎	1093(10)	13年間で著明な増大を示した AVM の 1 症例 渡辺 英寿・永宗 明仁・益沢 秀明 佐野 圭司	1285(12)
脳動脈瘤の発生、破裂、修復及び発育に関す る臨床病理学的研究 大原 宏夫・鈴木 二郎	1103(10)	前大脳静脈のレ線像 伊藤 寿介・山崎 悦功・武田 憲夫 佐藤 勇	1291(12)
橋出血の臨床病理学的研究—II. 病理学的検 討 中島 健二・伊藤善太郎・辺 龍秀 鈴木 明文・深沢 仁	1157(11)	局所脳循環よりみた脳機能活動—特に閉眼安 静時並びに talking test 時の rCBF パタ ーンについて— 遠藤 英雄・金谷 春之・Bo Larsen	1299(12)
実験・脳血管れん縮—脳かん流障害と血管撮 影の比較— 吉田 伸一・Richard A. R. Fraser	1167(10)	ミオパチーを伴った成人型特発性 Fanconi 症候群 古幡 憲郎・平山 恵造・斉藤 光典 朝長 正徳・大原 憲一・大野 丞二	1307(12)
中頭蓋窩クモ膜のう腫に関する臨床的考察 林 隆士・宮城 潤・河井 宏一 馬場 繁幸・渡辺 光夫・倉本 進賢	1177(11)		
末梢神経刺激による背側脊髓小脳路の興奮 性変化 窪田 惺・天野 恵市・喜多村孝一 R. E. Poppele	1189(11)		
定位脳手術後の小脳症状・手術巣との関連			

脳室内髄液搏動波の継時的観察

一波型分析の立場で一

外賀 昭・内海庄三郎・寺田 秀興

飯田 良樹・原田 哲雄・角田 茂 1315(12)

開眼開始困難を訴えた3症例

川村純一郎・福山 秀直 1327(12)

【短 報】

Apical dendrite および spine 染色のため
の Golgi 法変法

Josef Kelemen・山田 通夫 349(3)

螢光法による血清 CPK アイソザイム分析

諸岡 啓一・有馬 正高・加藤 典子 576(5)

ラット髄液採取法

高良 英一・竹山 英二・神保 実
喜多村孝一 804(7)

いわゆる middle root zone 変性を伴う

家族性・筋萎縮性側索硬化症における副
楔状束核の変性

巻淵 隆夫・生田 房弘 1312(12)

【そ の 他】

ご存知でしょうか

小児の急性頭蓋内血腫(外傷性)の診断

牧野 博安 104(1)

脳腫瘍の硼素中性子捕捉療法と免疫療法と
の関連

畠中 坦 218(1)

シナプス化学伝達物質とアミノ酸

内菌 耕二 300(3)

Creutzfeld-Jakob 病

山本 達也 398(4)

Neuritis retrobulbaris あるいは Arachnitis
optochiasmatica の診断の pitfall

千ヶ崎裕夫 856(8)

眼球運動と精神状態

島蘭 安雄 1092(10)

薬物依存とアルコール依存

加藤 正明 1156(11)

書 評

H. H. Merritt 著・椿 忠雄監訳「メリッ

ト神経病学」 祖父江逸郎 43(1)

原 一夫 編集「脳疾患のレ線診断」

(改訂第2版) 都留美都雄 55(1)

平野朝雄 著「神経病理を学ぶ人のために」

松山 春郎 203(2)

D. N. Landon 編「The Peripheral Nerve」

植林博太郎 258(3)

千野直一著「臨床筋電図・電気診断学入門」

明石 謙 385(4)

W. E. Watson 著「Cell Biology of Brain」

植林博太郎 397(4)

Giorgio Gabella 著「Structure of the

Autonomic Nervous System」 植林博太郎 516(5)

上村卓也・鈴木淳一・朴沢二郎・S. M.

Highstein 著「Neuro-otological Exami-
nation 亀山 正邦 523(5)

伊藤鉄夫 著「末梢神経の外科」 津下 健哉 730(7)

栗山欣弥 編「シナプスの構造と機能」

島村 宗夫 898(8)

高橋正睦 著「Atlas of Carotid Angiography」

鈴木 宗治 916(9)

黒岩義五郎・近藤喜代太郎 編「神経疫学」

福山 幸夫 970(9)

高橋睦正 著「Atlas of Carotid Angiography」

佐野 圭司 1066(10)

辻山義光 編「神経グリアーその全体像へ
の接近」 猪瀬 正 1081(10)

海外文献抄録

大友 英一

72(1), 160(2), 283(3), 386(4), 548(5),
646(6), 802(7), 870(8), 948(9), 1082(10),
1174(11), 1324(12)